



よくあるご質問

子会社の IPO について

<Q1>深圳証券取引所への北京コンチネントの IPO の状況について教えてください。何か問題がありましたか、それとも意図的に申請を控えていますか？

<A1>当社グループは、数年前から中国の深圳証券取引所と香港証券取引所への上場を積極的に検討して参りました。多くの企業がオフショアの事業体および関連する香港の事業体を介して上場している「レッドチップ」として香港上場を当初模索しましたが、市場において当時、当社グループが妥当と考えるバリュエーションを得ることができないと予測したため、中断することにいたしました。その後、深圳証券取引所への上場についての助言を得るために华泰証券と契約しましたが、一連の上場ルールの変更により、深圳証券取引所での IPO は困難となりました。そのため、一旦立ち止まり、ルール改訂を介しバイオテクノロジー企業を多く受け入れられている香港証券取引所を再び狙上に上げるなど、上場のさまざまな可能性と機会を再検討する方向となりました。当社グループは、北京コンチネントを公開するのに最も適している取引所を決定するため、様々な案を検証しています。結果は、後日発表させていただきます。

新薬の臨床試験について

<Q1> F351 第Ⅲ相臨床試験の登録はいつ完了する予定ですか？

<A1>早くても 2024 年 11 月頃の予定でございます。

<Q2>登録完了後、第Ⅲ相臨床試験データの取得にはどのくらい時間がかかりますか？

<A2>最短 2 年、長ければ 3 年ほどかかると見込んでおります。



<Q3>肝硬変への先行投与や腎線維化への適用拡大に対する F351 の早期承認の状況はどうなっていますか？

<A3> 現在、当社グループは、B 型肝炎から誘発された肝線維症の F351 臨床試験に注力しており、まだ腎線維化などの試験を開始する時期ではないと考えております。タイミングはおそらく肝線維症の承認後になると思われま

<Q4>Cullgen の新薬 IND の状況について教えてください。以下のホームページでは、TRK の現状は「IND 保留中」となっていますが、IND は提出されましたか？

<https://www.nature.com/articles/s41587-021-01173-2.pdf>

<A4>当社グループは、すでに中国の NMPA と、IND 申請に向けた事前のコミュニケーションを開始いたしました。正式な IND 申請は、そのコミュニケーションの後になると思われます。

株価について

<Q1> GNI の株価のボラティリティが高い理由をどのように捉えていますか？

<A1>バイオテクノロジーセクターは、世界的に他の産業セクターよりも不安定になる傾向がございます。米国、香港、日本の市場におけるバイオテクノロジーセクター全体の最近の株価チャートは、新型コロナウイルスの終息、インフレの上昇、金融政策の引き締め、地政学的危機に対する人々の期待度合を反映しております。また、バイオテクノロジー業界では、治験の進捗状況のニュースの方が実際の収益よりも株価に影響を与える傾向がございます。ただし、当社グループは、創薬におけるイノベーションと堅実な事業収益を両立できる体制を確立いたしました。これは、グローバルなバイオテクノロジー企業にとって、達成するのが難しい、珍しい組み合わせです。投資家の皆様には、今後も、GNI モデルを安定性と成長を組み合わせるものとお考えいただけると信じております。